

●令和6年度当初の値

圏域内の居宅介護支援事業所数	9
主任介護支援専門員の人数	10
介護支援専門員の数	14

●令和6年度のケアプラン総数

基準月	ケアプラン作成数	直持ちプラン件数	委託率（％）
令和6年3月	264	8	97.0%
令和7年3月			

	事業の内容	門真市目標値		前年度実績		活動計画		上半期実績		前年度の反省を踏まえた当該年度の目標	上半期の活動内容のまとめと課題	上半期実績に対する市の講評
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数			
ケアマネジメン ト業務	事例検討会	1		2		2	30	0	0	事例検討会については、多岐にわたる課題を抱えた利用者の事例を用いて、様々な専門職の意見を共有する。その中で、新たな気づきが発見できると考えている。研修会においても、参加者のニーズに応じた内容を組み立て、開催する予定である。	協力団体である居宅介護支援分科会との法定外研修に加えて、下半期に法定外研修を執り行う。また、元気はつらつ体操の活用にあたり、視野を広く持ちハードルを下げ、気軽に利用していただけるをコンセプトに事例研修会を計画中である。	元気はつらつ教室をマニュアル通りに卒業されたケースを通して、モチベーションの保ち方や卒業後のつなげ先におけるやりがいを持ってもらう支援等の事例検討会を実施予定されており、人員が不安定な中、元気はつらつ教室の利用につながるような研修会を企画されていて、非常に評価できます。
	うち、他圏域との合同開催数							0	0			
	研修会（法定外研修含む）	2		5		5	50	0	0			
	うち、他圏域との合同開催数			3				0	0			
	ネットワーク会議（圏域地域ケア会議以外の医療・関係機関等との意見交換の場など）	2		2		2	30	3	44			
	元気はつらつ教室利用者数（直持ち）		20		0		6		2			
	元気はつらつ教室利用者数（委託）				8		6		1			
	元気はつらつ教室終了後ケアマネジメントB算定件数（3か月後／6か月後）		12		3		5		2			
ケア地域 会議	個別地域ケア会議 延べ件数（実件数）	延べ3		延べ3		延べ3		延べ3（実3）		昨年度に引き続き、地域ケア会議を開き課題を抽出し、各関係機関（地域住民・金融機関・商店・医療機関など）と共に取り組んでいく。	経験が少ない、ALSの診断が下りた高齢者の退院後の支援について個別ケア会議を開催した。包括にとっても、問題を分析し解決策をみつける力が身についたと感じている。	個別地域ケア会議の年間活動回数を上半期で到達されております。今後も引き続き圏域課題の抽出等のために積極的に開催をお願いします。
	圏域地域ケア会議	1		1		1	20	1	36			
把握 事業防	基本チェックリスト実施件数		30		42		50		26	基本チェックリストについては、これからも必要な方が、適切な支援に繋がらないという状況を回避するために活用したい。	基本チェックリストを実施することにより、自身の状態把握のツールとして、理解を深めていただけた。	チェックリスト実施から総合事業につながった人数が多く、効果的に利用されていると思います。
	上記のうち総合事業につなげた件数								20			
普及 啓蒙 事業防	介護予防教室	12	120	13	201	12	170	12	263	介護予防教室では、医療面を含めて、各関係機関と連携し、幅広いテーマを取り上げる。地域住民が自立した日常生活が送れるよう生活の質を高め、住み慣れた地域での社会参加を促したいと考える。	課題であった男性の参加者に狙いを絞り、運動と健康寿命や病気との関係、運動の種類について講義および実技の予防教室を行った。講義終了後には運動の大切さを実感されていた。さらには「予測できない地震に備える！もしものときのアクションプラン」をテーマに、地震発生時に備えて、とるべき基本行動と地震のメカニズムが習得できた。	「防災」をテーマとした教室を開催され、男性の参加者数が増える等、テーマの選定を工夫、教室開催のチラシを老福、自治会長経由で配布し、1回あたり20名以上が参加され、テーマや周知活動の工夫が窺えます。
	うち、他圏域との合同開催数			1	21			0	0			
	出前講座			1	15			0	0			
	うち、他圏域との合同開催数							1	10			
	介護予防教室・出前講座以外の普及啓発活動	1	10			1	15	0	0			
	うち、他圏域との合同開催数							0	0			
地域 支援 事業防 活動	通いの場の開催支援	10	100	53	181	53	180	27	101	内容に関しては、新たなチャレンジができればと考えているが、集中して何かひとつのものを作り上げるをコンセプトに、多様性を高め、これからはボランティア等養成及び活動支援を継続したい。	認知症予防に有効だと言われている、曼荼羅塗り絵を実施した。模様を対象に描かれた曼荼羅に色を塗っていく作業である。参加者からは、集中して時間が経つのが早かった。リラックスできたなどの感想をいただき効果を実感した。	通いの場の抱い手問題はがあるが、参加者数の多い通いの場は二部制にして、より多く参加ができるようにしている。
	通いの場への専門職（リハ職等）派遣（派遣回数と通いの場の人数）	3	15	3	33	3	40	1	15			
	ボランティア等養成及び活動支援	1	10	24	205	12	150	4	52			
	うち、他圏域との合同開催数			0	0			0	0			
介護 予防 拠点 の	地域包括支援センターが関わりのある通いの場の数と参加者数			9	125	9	120	9	123	2層のコーディネーターや自治会などと協力し合いながら、新たな通いの場づくりに乗り出し、展開していければと考える。同時に、立ち上げたいという声があれば、ニーズに応じてサポートに回りたい。	課題でもある、場所の確保やリーダーになってくれる人がみつからない。	場所の確保及び抱い手の発属等は2層SCと連携をしていただき、1つでも通いの場が立ち上がるように、引き続き努力していただきたい。
	年度内に立ち上げた通いの場数と参加者数	1	5	1	30	1	10	0	0			
認知 症 総合 支援 事業	認知症初期集中支援チーム発動件数		2		0		1		0	認知症カフェでは、今までボランティアの方々にサポートしていただいているが、より活躍できる場を広げたい。さらには、これまでの実績、介護予防を目的とした講座をブラッシュアップし、他圏域と共催することを今年度の目標にあげている。	認知症サポーター養成講座受講者を対象に、11月に認知症サポーターステップアップ講座を予定している。認知症の方やその家族の支援が地域でできるよう、正しい知識の習得を目的にしている。	認知症カフェにおいて、配膳等をしてくれる参加者を養成されている。配膳等を一步として、負担にならない程度に協力いただけそうな部分を増やしていただきたい。
	認知症カフェ（立上及び開催支援）	1	5			12→17	50→55	5	15			
	認知症サポーターステップアップ講座	1	10	1	9	1	10	0	0			
	うち、他圏域との合同開催数							0	0			
	ボランティア等養成及び活動支援	1	5			4	50	4	12			
	うち、他圏域との合同開催数							0	0			
任意 事業	家族介護教室	1	5	1	10	1	10	0	0	任意事業では、介護に関する知識を高め、介護する人介護される人、双方の負担を軽減する。また、介護者同志が交流を図ることで、ひとりで抱え込むことがなくなる。これからも、このような地道な活動を続けることで地域の課題に向き合っていきたい。	「認知症世界の歩き方」のワークショップを通して認知症見守り教室を開催した。ケーススタディを用いることで問題解決に結びつけるスキルを養うことができ認知症の方がどのように考えているのかを推測する過程を感じていただけた。また、一般の方向けに認知症サポーター養成講座を他圏域と共催し、実施する予定である。	以前より介護者家族交流会を立ちあげ、開催支援をされているため、引き続き継続していただきたい。
	出前講座等を含めた普及啓発（家族介護教室）							0	0			
	認知症見守り教室	2	10			2	20	1	15			
	出前講座等を含めた普及啓発（認知症見守り教室）							0	0			
	介護者家族交流会(立上及び開催支援)	1	5	12	38	12	30	3	17			
	介護者家族健康相談		1		0		1		0			
	認知症サポーター養成講座(一般)	2	10	1	15	1	10	0	0			
	うち、他圏域との合同開催数							0	0			
	認知症サポーター養成講座(ジュニア)	1	10	0	0	1	10	0	0			
	うち、他圏域との合同開催数							0	0			
対面 相談	夜間・休日に対面して相談対応した件数（計画の記載は不要）			実人数	延人数			実人数	延人数			
				0	0			0	0			